

介護予防デイサービスの仲介支援に関する研究**－高齡男性の支援事例の検討から－**

○京都府立大学大学院公共政策学研究科博士後期課程福祉社会学専攻 山本 大輔 (9710)

キーワード：高齡男性、介護予防、仲介支援

1. 研究目的

地域包括ケアシステムの推進される現在、介護予防が注目されている。各地で介護予防事業が展開されるなか、男性の利用はすすんでいない。そして高齡男性の孤立の問題も指摘されており、彼らへの予防的な支援は重要性を増している。

一般に定年まで会社員生活を送ってきた高齡男性は、地域とのつながりの希薄であることが多い。また高齡男性は心身の機能低下から介護が必要になっても、我慢してしまうか家族に依存してしまいがちである。そのような高齡男性に対して、介護予防デイサービスの利用による介護予防支援は有効であると考え。そこでは本人にとって自由な過ごし方を提供し、家族以外の人との交流を作り出すことが可能になるからである。

さらに介護予防デイサービスには、地域の社会資源や福祉サービスとの仲介という役割があると考えている。つまりそれは、本人と家族、本人と福祉サービス、あるいは在宅サービスと施設サービスなどのつなぎ役としての仲介支援である。仲介支援そのものは、利用者すべてに必要な不可欠である。しかしそれまで地域とのつながりが希薄で孤立の問題を抱えている高齡男性は、とくに変化に即対応できる仲介支援は重要であると考え。そこで本研究では、この介護予防デイサービスのもつ仲介という役割に注目し、高齡男性の支援事例の分析からこの仲介支援の意義を検討したい。また本研究は筆者の継続研究でもあるため、まず高齡男性に焦点をあて研究をすすめていきたい。

2. 研究の視点および方法

本研究は事例研究の手法を通じて、介護予防デイサービスの仲介支援を考えていきたい。特に高齡男性の事例から仲介支援をとおして地域生活を支えるための支援モデルを検討してみたい。そのための調査方法は、介護予防デイサービスの職員に対するヒアリング調査を中心に行った。それに加え、事業所で保有する支援経過記録や、職員間の情報共有のために使われている申し送りノートなども閲覧した。それらから家族や関係機関とのやりとりから分析をすすめるための事例を作成し、仲介支援の検討を行った。

3. 倫理的配慮

本研究は一般社団法人日本社会福祉学会の研究倫理規程ならびに筆者の所属する法人の個人情報保護に関するガイドラインを遵守して行った。

4. 研究結果

今回、X市にある介護予防デイサービスA事業所を利用する7名の高齢男性を対象に調査した。その調査をもとに事例を作成し、先行研究もふまえて支援者の仲介支援の特徴として以下の7点にまとめた。

①利用開始からの経過の把握	職員の気づきを家族やケアマネジャーと共有する
②ニーズのチェック	本人と面接しアセスメントを行う
③ニーズにもとづく交渉、調整	支援者が家族や他事業所に対し直接働きかける
④実施のための準備	上司や他職種に報告、相談し支援方法を検討する
⑤実施のタイミングを計る	本人の納得を得たうえでの実施
⑥本人へのフォローアップ	サービス変更後も本人を訪ね、状況を確認する。
⑦支援者へのフィードバック	職員間での検討やスーパービジョンを行う。ケアマネジャーからの情報提供も参考にする。

5. 考察

研究結果から介護予防デイサービスの仲介支援は、④プロセスからの支援が必要であること、⑥それは上記の7つによって可能となること、⑦エンパワメントを志向する支援であること、の3点にまとめることができる。つまりこの3点によって仲介支援は、時間的経過のなかで展開される一連の支援の積み上げとフィードバック、そして本人の問題解決能力を高めることを可能にする力動的な支援システムとなるのである。

最後に今回の調査は高齢男性への仲介支援を検討した。それは男性の孤立しがちな点や福祉サービスにつながりにくい点をふまえ彼らへの支援に焦点を置いたからである。一方で仲介支援は対象を高齢男性に限らない。今後は女性も含めた検討をすすめていくことを通じて、介護予防デイサービスによる仲介支援システムの構築につなげていきたい。

参考文献

- 1) 中村佐織 『ソーシャルワーク・アセスメント』 相川書房 2002年
- 2) 山本大輔、中村佐織「介護予防デイサービス固有の役割の検討—高齢男性の地域生活継続の視点から—」『京都府立大学学術報告 公共政策 第13号』 2021年 pp. 35-54
- 3) 大塚美和子「スクールソーシャルワーク実践理論の開発—学級崩壊を経験した親と学校間の仲介理論—」『人間福祉学研究 1巻1号』 2008年 pp. 43-53
- 4) 松岡是伸、小松菜生子「ソーシャルワークの機能・役割に関する実践的考察と検討—児童養護施設での実践事例をもとにして—」『名寄市立大学紀要第9巻』 2015年 pp. 69-81